

# 平成 25 年度行方市決算

## 決算の概況

平成25年度

市民の皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにどのように生かされたかをまとめたものです。

### 一般会計

平成25年度の一般会計決算額は、歳入が199億9,659万円、歳出が191億6,369万円で、当年度における「歳入歳出差引額」は8億3,290万円となりました。

この差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は5億4,540万円となりました。

### 〔歳入〕

全体では前年度に比べて1億6,315万円（0.8%）の増となりました。

景気の回復による市税及び国の経済対策事業により国庫支出金が増額となる一方、震災復興事業の減少等により

普通交付税が減額となりました。

### 〔歳出〕

全体では、前年度に比べ5億7,095万円（3.1%）の増となりました。厳しい財政状況の中、限られた財源の重点的配分を行うとともに、経費の一層の削減など財政の健全化に努めながら、保健・医療・福祉、教育・文化、産業、生活環境、社会基盤の各分野について種々の施策を推進してきました。特に今年度は、道路整備事業及び統合小学校施設整備事業について増額となっています。

### 特別会計・企業会計

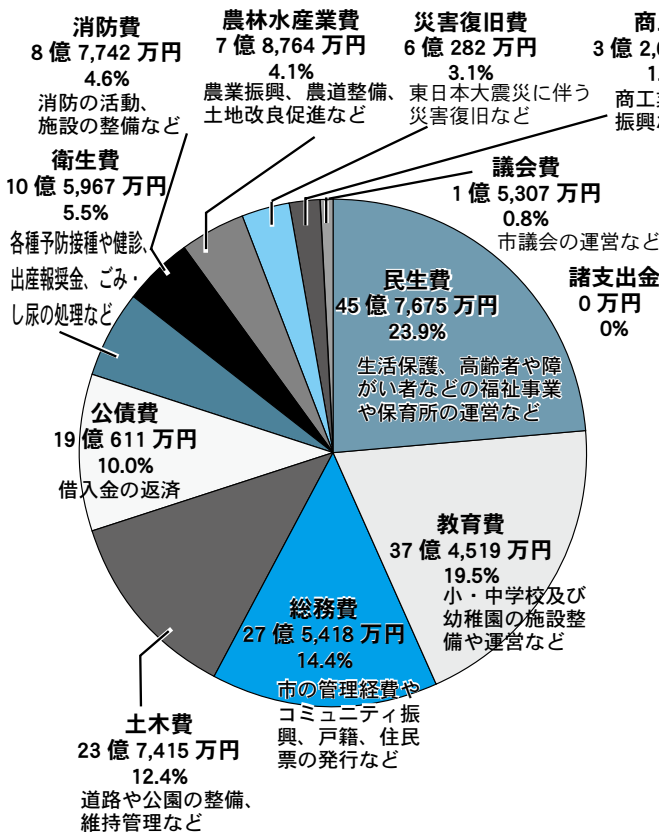
一般会計のほかに、特定の事業を行うための7つの「特別会計」と、地方公営企業法を適用している「水道事業会計」があります。

「特別会計」と「水道事業会計」の収益的収支を併せた決算額は、歳入総額108億4,984万円、歳出総額106億9,316万円で、差引額1億5,668万円となりました。

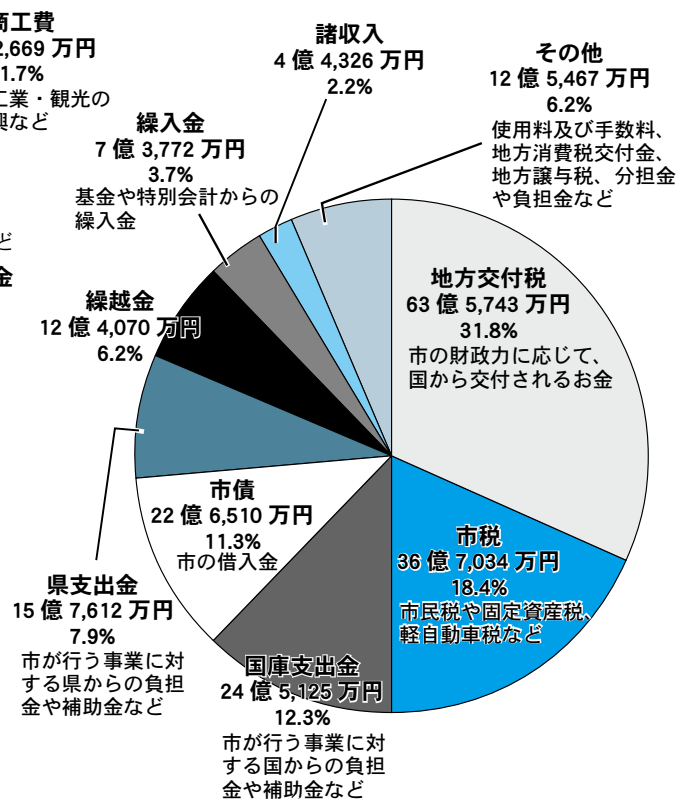
【問い合わせ】 財政課（麻生庁舎）

☎0299（72）0811

一般会計歳出 191 億 6,369 万円



一般会計歳入 199 億 9,659 万円



※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

# 特別会計・企業会計決算額

会計区分	歳入決算額 主な項目	歳出決算額 主な項目	歳入歳出差引残金
国民健康保険	52億9,997万円 国民健康保険税、国庫支出金、 共同事業交付金、前期高齢者 交付金、繰入金など	52億8,911万円 保険給付費、後期高齢者支援 金、共同事業拠出金、介護納 付金など	1,086万円
介護保険 (保険事業勘定)	32億9,028万円 保険料、支払基金交付金、国 庫支出金、県支出金、繰入金など	32億1,769万円 保険給付費、地域支援事業費、 総務費など	7,259万円
介護保険 (サービス事業勘定)	974万円 介護予防サービス費収入、繰 入金など	883万円 新予防給付事業費など	91万円
後期高齢者医療	2億9,951万円 保険料、繰入金など	2億9,906万円 広域連合納付金など	45万円
農業集落排水事業	1億3,874万円 負担金、県支出金、繰入金、使 用料など	1億2,784万円 総務費、公債費、事業費	1,090万円
特定環境保全公共 下水道事業	5億386万円 国庫支出金、市債、県支出金、 使用料、繰入金など	4億8,917万円 事業費、公債費、総務費など	1,469万円
流域関連公共 下水道事業	3億9,866万円 使用料、負担金、市債、繰入 金など	3億8,873万円 公債費、維持費、下水道費、 総務費	993万円
戸別浄化槽 整備事業	1億1,416万円 市債、国庫支出金、県支出金、 負担金、繰入金など	1億1,152万円 事業費、総務費、公債費	264万円

## 水道事業会計

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	7億9,492万円	7億6,121万円	3,371万円
資本的収支	1,752万円	3億2,367万円	△3億615万円

企業会計である水道事業は、給水などの営業面からみた収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としています。